

金沢大学大学院法務研究科  
 2016年度「法理学」定期試験  
 8月4日(木) 8:45-10:15 実施  
 出題: 足立英彦  
 解答・解説 (70点満点)

1. 次の論証(推論)が妥当であるかどうかを真理表を書いて確かめなさい。(各5点)

(a)  $P \vee Q, P \rightarrow Q$  したがって,  $Q$

解答

		前提 1	前提 2	結論
$P$	$Q$	$P \vee Q$	$P \rightarrow Q$	$Q$
1	1	1	1	1
1	0	1	0	0
0	1	1	1	1
0	0	0	1	0

この推論において、前提がすべて真の場合は3行目だけであり、その場合に結論は真になっている。したがってこの推論は妥当である。

(b)  $A \rightarrow B, \neg A$  したがって  $\neg B$

解答

		前提 1	前提 2	結論
$A$	$B$	$A \rightarrow B$	$\neg A$	$\neg B$
1	1	1	0	0
1	0	0	0	1
0	1	1	1	0
0	0	1	1	1

この推論において、前提がすべて真の場合は3行目と4行目であるが、3行目の結論が偽となっている。すなわちこの推論には反例があるので妥当でない。

2. 次の語句を説明しなさい。(各5点)

(a) 規範文

解答 規範文とは、義務的な表現を含む文である。

(b) 自由権

解答 自由権とは、ある行為について、その作為と不作為がともに許されており、かつ、その作為及び不作為を妨害しないよう求める権利もある地位のことである。

(c) 権限

解答 権限とは、一般的規範や個別的規範を制定、変更、廃止することによって、自分

や他人の地位に変更を加える能力のことである。

(d) 責務

解答 責務とは、権限を有する者が定めた規範に従わなければならない地位のことである。

(e) 制度的保障

解答 制度的保障とは、制度を保障することであるが、制度は規範の集合なので、規範の集合を保障することでもある。また、規範は制度的行為によって定められるが、この制度的行為は、規範を定める権限を授權規範によって与えられている者だけが行うことができる。したがって制度的保障は、授權規範を保障することによって規範を制定するという制度的行為を保障することでもある。

3. 名宛人の違いによって規範を分類する方法を説明しなさい。(10点)

解答 規範は、具体的に名指ししうる特定の人を名宛人(義務を課される人)とする個別的規範と、不特定のすべての人を名宛人とする一般的規範に分類することができる。

規範は記述部分と義務様相から構成される命題であるが、その記述部分の真偽が定まらなければ、規範全体の真偽も定まらない。ところで、文の主語は、特定の人(定項)か不特定の人(変項)かのいずれかであるが、文の真偽が定まるのは、前者か、後者のうち主語が全称量化または存在量化されているものに限られる。しかしながら、存在量化された主語を持つ記述部分を含む規範(「誰でもいいから、ある人が~をすることを命じられる」)を日常生活で用いることは稀である。したがってほとんどすべての規範は、特定の人を主語(名宛人)とする個別的規範と、不特定のすべての人を主語とする一般的規範のいずれかに分類できる。

4. 私人の権限と国会の権限について、両者の違いに重点を置きつつ説明しなさい。(10点)

解答 私人が有する権限と国会が有する権限は、ともに規範を創造する権限であるという点では同じである。また、その権限によって他者になんらかの義務を課す場合、その義務を課される他者の同意を必要とするという点も同じである。

他方、私人が有する権限は、特定の人を義務づける個別規範(契約)を定める権限であるのに対して、国会が有する権限は、不特定のすべての人を義務づける一般規範(法律)を定める権限である。この違いには、同意のあり方の違いが反映している。私人は、義務を負う特定の相手方の同意を得てはじめて、その相手方を義務づけることができる。私人が不特定のすべての人から直接同意を得ることは、個人の能力の限界を考慮すれば事実上不可能であり、したがって私人に一般規範を定める権限を与えることは不可能である。これに対して現代の民主主義国家の国会は、国民が選挙を通して選んだ国会議員で構成されており、その過半数の議員が定める法律には、その議員を選んだ国民の、したがって相対的多数の国民の間接的な同意が与えられているとみなすことができる。このことを主要な根拠として、国会には一般規範を定めることによって不特定のすべての人を義務づける権限が与えられているの

である。

5. アリストテレスの正義論によれば、どのような状態が「正しい」（正義にかなっている）といえるのか。次の語を用いつつ説明しなさい。（15点）

平均的正義・分配的正義・交換的正義・矯正的正義

**解答** アリストテレスによれば、正義は合法性と平等を意味する。前者は法に従うことであり、後者は何かと何か等しい、すなわち同じであることである。平等の意味での正義には、平均的正義と分配的正義とがある。平均的正義とは、2者間で利益や負担が等しいことである。この平均的正義は、さらに交換的正義と矯正的正義に分けられる。交換的正義とは、売買や交換などで引き渡される物や貨幣の価値が同じであることを、矯正的正義は、犯罪や不法行為などの不正な行為がなされた際に、その被害者が蒙った負担の重みと、元の状態に戻すために加害者に課される負担、すなわち刑罰や損害賠償の重みが同じであることを指す。これに対して分配的正義とは、「等しき者は等しく扱え」という標語で表される原理であり、狭義では同じ性質を有する者に同じ利益や負担を配ることを意味するが、広義では、各人の性質に応じて、その性質に見合った分配をすることを意味する。なお分配的正義の原理は、人々が有するどのような性質に着目して「等しい者」を決めるべきなのか、また、そのようにして選ばれた等しい者の集団をどのように扱うべきなのかについては、何も語らない。この「性質」と「扱い方」は、どのような目的をその分配で実現しようとするのか、またその目的を実現するのに最も適しており、さらに他の目的を不必要に侵害しない配分の仕方は何であるかを考慮して決めなければならない。

参考情報（2016年8月5日現在）

● 定期試験結果

履修登録数	定期試験受験者数	放棄	定期試験平均点	総合平均点
4	4	0	55.8	79.3

定期試験上位得点者: 70点2名。

● 総合評価

S(100-90)	A(89-80)	B(79-70)	C(69-)	不可	放棄
2	0	0	2	0	0

総合上位得点者: 99点1名, 97点1名

以上